

子どもも輝く宮っこ

給食で「地産地消」を学んでよ!



★「食育の森」での収穫体験
給食委員が収穫した果物は給食室で調理され、給食として提供されます。



★「仲間作りの森」でのチームビルド
学級開きや部活動などで活用して、チームワークを築きます。

清原の杜での体験活動

校内林で体験学習
「清原の杜」で育む、知・徳・体!



清原中学校では、平成21年度から「地域の宝(環境・人材)を活用して地域の宝(生徒)を育てる環境教育」をテーマに掲げ、環境緑化活動を実践しています。「清原の杜」は平成22年度、学校の敷地内にある学校の林の特徴に合わせて設定された「野生の森」「水辺の森」「山野草の森」「地域の森」「食育の森」「仲間作りの森」「野鳥の森」「生命の森」「季節の森」の9つのゾーンの総称です。生徒達が緑化活動を通して体験から学びを引き出す場であり、地域の方との交流の場でもあります。

この9つのゾーンは、教科の学習、学級や部活動の人間関係作り、生徒会や委員会のイベント、部活

★「野生の森」での俳句作り
教室ではなく、森の中で作った俳句には、自然を表す言葉があふれています。



★「季節の森」でのハーブ栽培
生徒手作りの「ドライハーブ」を、文化祭でプレゼントしています。

地域の宝(人材)と交流

歩きやすくなったよ!



★「清原の杜」シンボルツリー
正門に設置したシンボルツリーには地域の宝(人材)の気持ちが詰まっています。



★ホタル(幼虫)の放虫
平成22年からの2年間、地域の方が育てた幼虫と川蛭を生徒の手で池に放流。なんと今夏は自然発生しました!



★水生植物の植え込み
地域の方から寄贈を受けた水生植物を、生徒と一緒に校内の池に植え込みました。



★ウッドチップロード作り
地域の方が危険木を伐採して加工したウッドチップを、生徒が林道に撒きました。

運動の体力作りなど、特徴に応じて様々な用途に活用しています。

「清原の杜」が実現するまでには、危険木を伐採してウッドチップに加工し、りんこの木等の植樹、ホタルの放虫等、PTAや地域協議会、地域有志の方から多大な協力をいただきました。

地域の宝(環境・人材)の協力でできた「清原の杜」を活用するだけでなく、除草したり、施設の整備をしたりするなど、中学生が自分達自身で、「杜」を守っています。こうした活動を通して、地域の宝(生徒)は着実に育っています。

今後は、「この「杜」を活用して、地域のお年寄りや小学生との交流を行っていきたいと思います。」

この取組は、「平成23年度 全日本学校関係緑化コンクール 学校環境緑化の部」で高い評価を受け「準特選」を受賞することができました。この喜びを「清原の杜」にかかわった全ての方と共有したいと思えます。

身近にいたよ!頑張る宮っこ!

3月に開催された、「第8回 全国小学生タグラグビー選手権」で、1,051チームの中から3位に輝いた、「新田ウォーリアーズ」の齊藤誠監督にお話を伺いました。



全国大会出場メンバー 佐藤市長と記念撮影 ※後列左端が齊藤監督



タグラグビーとの出会いは?

私は、教員として子どもたちにスポーツを通して、全身を使うことの楽しさと、仲間との絆、そして進んで自ら考える自主性を教えたかと考えていました。もともとラグビーの選手だったので、ラグビーの楽しさを残しつつ、安全性を高めたスポーツを探していたところ、15年前にタグラグビーと出会い、授業に取り入れたり、休み時間に教えたりするようになりました。

ラグビーとは何が違うのですか?

1番大きな違いは接触プレーが無いことです。タックルの代わりに、腰につけたタグ(ひも)を取り合います。

すぐに受け入れられましたか?

ルールが単純であること、難しい技術がいらないこと、学年や性別に関係なく全員が活躍できることなどの特色があるので、すぐに受け入れられました。実は今までに途中で辞めた子がいないんですよ。

全国大会で活躍する自信はありましたか?

全国レベルを意識して練習していたので、県大会から手がこたえは感じていました。新田ウォーリアーズは厳しい練習よりも、毎プレーを楽しむことをモットーとしているので、監督としては、もうちょっと練習時間を



新田ウォーリアーズでは、仲間を募集中です。小学生であれば、学区・学年・性別は問いません。毎週土曜の朝7時~9時に、新田小学校校庭で活動しています。費用は保険代金のみ。月会費や保護者の当番もありません。大会には、4~6年生の全員が出場します。見学・体験大歓迎です。ぜひご連絡ください。連絡先:090-4679-2916(齊藤監督)

増やしても苦にならないかな? とも思っているんですけどね。

全国で3位になったときの気持ちは?

選手たちはかなりくやしがついていました。でも、1試合ごとの成長を目の当たりにすると、もう、「みんな、よくやった!」以外の言葉が出てきません。褒めてあげたい気持ちでいっぱいでした。

これからの目標は?

ウォーリアーズのさらなる活躍も目標の一つですが、市内のタグラグビーチームをもっと増やしたいと思っています。そのために興味のあるスポーツ指導者や教員対象にも見学・体験を随時受け入れています。当面の目標としては、関東大会に宇都宮市から4チーム出場するくらいの普及を目指しています。

タグラグビーに興味を持った子どもたちへ

タグラグビーの良いところはいろいろあります。先ほど述べました、全身運動による基本的な運動能力の向上や自主性の成長はもちろんですが、1番良いところはなんといっても、チーム一人ひとりがヒーローになれるところです。相手をこめる、かわす、良いパスを出す、毎プレーに選手の個性と得意分野が光ります。全部の選手に輝ける場面が必ず訪れます。ぜひ「チームで楽しく、自分も楽しく」一緒にやりましょう! チームみんなが大歓迎です。

頑張っている宮っ子たちに言

何事にも失敗を恐れずに挑戦してください。恐れは失敗につながりますが、積極的な挑戦は困難を打ち破る「やる気」を呼び、「やる気」は「楽しさ」につながります。「楽しさ」はきつと良い結果を呼びますよ。

